

！かながわサイエンスパークの誕生！



日本初の都市型サイエンスパーク



地域住民との対話を重ね、昭和62年に大規模かつ短工期の工事が始まりました。

かながわサイエンスパーク（KSP）は、都心から約20分と好アクセスで、先端企業や研究機関が集まる日本初の都市型サイエンスパークです。ベンチャーから大企業・外資系まで、科学・技術系を中心に多くの企業が、日々さまざまな研究開発に取り組んでいます。

昭和48（1973）年のオイルショック以降、産業構造の変化や円高の進行、中央から地方への権限委譲など時代の流れの中で、昭和53（1978）年に長洲知事が提唱した「頭脳センター構想」や昭和56（1981）年に伊藤川崎市長が提唱した「メカトロポリス構想」など、様々な人のビジョンと想いが重なり、産学官が連携して平成元（1989）年に開設されました。



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ